

平成16年度栃木県香港事務所5大ニュース

(平成17年3月29日、栃木県香港駐在員)

1. 「JapanTravelFestival」への出展、香港旅行社協会視察ツアーの招聘



4月1日から、香港人に対して日本に渡航する際のビザ（査証）の取得が免除されたことから、香港人の訪日旅行意欲は一層高まっています。

4月3日・4日の2日間、香港一の繁華街にあるショッピングセンター、「時代広場」で、「JapanTravelFestival（日本旅遊節）」というイベントが開催されました。このイベントは、日本の国際観光振興機構（JNTO）が主催したもので、

県香港事務所も在香港の他の自治体事務所や現地の大手旅行代理店とともに出展し、県内各地の観光資源や旅行商品をPRしました。

また4月6日から9日まで日本を訪れていた香港旅行社協会（HATA）の視察団が、8日・9日の2日間、本県の佐野市、日光市、藤原町を訪れました。この視察ツアー実施にあたっては、県香港事務所が本県を視察してもらうように働きかけた結果、「佐野観光農園いちご畑」のほか、日光東照宮、中禅寺湖、華厳の滝を訪れ、鬼怒川温泉に1泊するという視察コースが設定されました。この視察の様子は4月20日のNHKニュース（首都圏ローカル）において紹介されたほか、後日ほぼ視察コースどおりの団体ツアーが発売されるなどの成果を挙げました。

2. 「華東栃木県企業人会」が発足

10月10日、中国華東地域（上海市、江蘇省、浙江省）に勤務している県内企業の関係者や栃木県出身者を対象にした「華東栃木県企業人会」が発足しました。県香港事務所はこの会の事務局を担当し、会員間のネットワークづくりと親睦を支援していきます。

上海市で開催された発足式には33名の本県関係者が出席しました。和やかな雰囲気ながら出席者同士で名刺交換が盛んに行われ、自己紹介の場では自社のPRを熱心にする人も目立つなど賑わいをみせていました。こうした会員同士の交流を通じて進出企業間での部材調達といった新たなビジネスチャンスが生まれることも期待しています。



3. 「中国華東地域投資環境調査ミッション」の実施を支援

県と県海外経済交流協議会は11月2日から6日まで、中国華東地域の投資環境を調査するためにミッションを派遣しました。このミッションには県内企業、団体の関係者19名が参加し、県香港事務所は訪問先のアポイント取得や当日のアテンドを行いました。

このミッションでは、華東地域の開発区や本県と友好提携関係にある浙江省政府への訪問、「上海国際工業博覧会」の視察を行うとともに、中国進出に成功している岩下食品（栃木市）、大日光・エンジニアリング（今市市）、栃木富士産業（栃木市）の現地法人にも訪問し、現地の投資環境などについて率直なお話を伺うことができました。

4. 本県産ナシ「にっこり」、香港で好評

11月22日から、香港の食品スーパー、「シティ・スーパー」（3店舗）において、本県産のナシ「にっこり」が発売され、好評を博しました。

この「にっこり」の販売は、7月に「シティ・スーパー」のバイヤーを招聘し県内のナシ農家を視察してもらったことがきっかけで、100ケース（約500^キ）のオーダーが入ったものです。発売後約2週間で売り切ったことから、急遽、贈答需要が高まる年末にかけて追加発注が行われ、2月までに計250ケース（約1.25^ト）が出荷されました。

香港の週刊誌、「新假期」（WeekendWeekly）が、「巨型微笑梨」という見出しで「にっこり」を紹介してくれたほか、別の日系商社からも「にっこり」を扱いたいという申し出を受けるなど、「にっこり」の香港デビューは予想以上の成功を収めました。

県香港事務所としては、今後は香港での販路を一層拡大するとともに、台湾や中国といった中華圏でも「にっこり」のプロモーションを行っていきたいと考えています。



5. 本県産イチゴ「とちおとめ」も香港初上陸

「にっこり」に続いて本県産イチゴ「とちおとめ」も、1月21日に香港の「シティ・スーパー」で販売が開始され、3月上旬までに5,500パック（約1.65^ト）が輸出されました。

香港での日本産イチゴの評価は非常に高かったものの、これまでは福岡産の品種が、地の利を生かして市場を押しえていました。こうした状況のもと生産日本一を誇る本県産イチゴが、香港に初上陸しました。

香港では最近、「観光イチゴ園」に対する人気が高まっています。そこで県香港事務所としては、生食のイチゴと「観光イチゴ園」を切り口にした観光プロモーションとを結びつけ、相乗効果を上げるとともに、香港における栃木県のイメージづくりにもつなげていきたいと考えています。



《番外》香港駐在員、アジア各地で本県経済の国際化に尽力

香港のほか、中国をはじめとする東アジアや東南アジア諸国を担当地域としている県香港事務所は、香港以外でも県内経済の国際化に関する取組を行ってきました。

外国人観光客誘致に関する業務については、栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会が主催した台湾ミッションに参加しました。また（社）日光観光協会が出展した「2005年上海世界旅遊資源博覧会」や（社）栃木県観光協会が出展した「2005 広州ジャパンフェスタ」においても現地で支援を行いました。更に、訪日旅行推進キャンペーン、「ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）」の重点市場に追加される見込みのシンガポールとタイでは、来年度の事業実施を念頭に関係情報を収集しました。

県産品の販路拡大に関する業務については、（社）とちぎ農産物マーケティング協会の関係者とともに台湾において日本産農産物・食品市場に関する調査を行ったほか、中国、シンガポール、タイ、韓国においても同様の調査を実施しました。